

第13回 2025年大阪・関西万博推進本部会議 (会期中の各専門部会の主な取組み)

令和7年4月8日(火)

大阪府・大阪市万博推進局



財政総務部会



〈構成〉 部会長:大阪府政策企画部長

副部会長:大阪市政策企画室長

大 阪 府	大 阪 市
政策企画部、総務部、財務部	総務局、政策企画室、財政局
万博推進局	

(1)大阪版万博アクションプランの実現

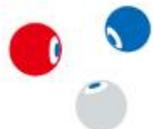
▶大阪版万博アクションプランに定める2025年時点の取組の実現をはかる

- ・関係部局と緊密に連携しアクションプランに掲げた取組みの実現を図り、万博開催時に実証・実装を行うことで、新たなイノベーションの創出や、万博後の産業化等につなげる。

(2)円滑な万博開催の下支え

▶関係者と調整を図り、万博の円滑な運営を下支えする

- ・博覧会協会をはじめ関係機関等と緊密に連携し、万博の円滑な開催を下支え。



危機管理部会



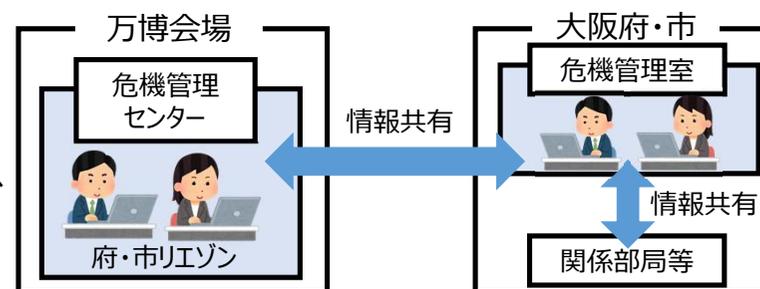
〈構成〉 部会長:大阪府危機管理監 副部会長:大阪市危機管理監

大阪府	大阪市
危機管理室、財務部、健康医療部、都市整備部、警察本部	危機管理室、消防局、建設局、デジタル統括室、区役所
大阪都市計画局、大阪港湾局	

▶安全・安心な万博開催に向け、警察・消防・危機管理をはじめとする関係部局が連携した体制を構築

(1)万博会場との連絡調整

- ・ 博覧会協会及び万博推進局をはじめとする関係部局と連携し、平時から緊密な情報連絡体制を構築するとともに、大規模災害の発生に備え、**万博会場内に府・市の危機管理室職員を現地連絡調整員(リエゾン)として派遣し、災害発生時の迅速かつ正確な情報の収集・共有を実施**



(2)警備体制

- ・ **約250人の会場警察隊が交代制で会場内に24時間常駐**
- ・ 博覧会協会等が手配する民間警備員等と連携し、会場内や周辺で事件や事故が発生した際の対応や要人警護、雑踏警備等を実施

(3)消防防災体制

- ・ 令和7年4月1日(火)からを特別警戒期間とし、**消防局に「大阪・関西万博消防対策推進本部」を設置し、開会式や閉会式、万博に伴う行幸啓等、必要に応じて特別警戒を行う体制を構築**
- ・ **会場内の大阪・関西万博消防センターに消防車や救急車等の車両を常駐**



(4)災害時の医療体制

- ・ 災害拠点病院・災害医療協力病院等における患者受入、DMAT等の医療救護班の派遣、大阪府ドクターヘリの運用等、安全・安心な万博の開催に向けた災害医療体制を整備

(5)災害時の備え

1. 関係機関との連携体制の構築

- ・ 南海トラフ巨大地震等の大規模自然災害や危機事象を想定した各種訓練の実施により、博覧会協会、各救助機関及び鉄道、バス等の公共交通機関等の関係機関との災害発生時における緊密な連携体制を構築

■ R6.11 協会・府・市合同図上訓練



○18機関、約90名が参加し、「議論形式」による訓練を実施

■ R7.1 大阪府地震・津波災害対策訓練



○舞洲を夢洲に見立て、ヘリによる航空搬送・八尾SCUでの医療救護活動訓練や船舶による物資・帰宅困難者の輸送等の実動訓練を実施



■ R7.2 国民保護共同訓練



○夢洲駅にて化学剤散布テロが発生したとの想定で実動訓練を実施

2. 帰宅困難者への対策

i. 会場周辺

- ・ 備蓄食料の追加配備 ⇒ 博覧会協会が調達した60万食に加え、大阪府市1:1の割合で30万食を万博会場内に追加配備
- ・ 一時滞在施設の確保 ⇒ 万博会場内の一時滞在施設が不足するケースを想定し、夢洲、咲洲及び舞洲において、ATCや森ノ宮医療大学、アミティ舞洲等、8カ所の会場外一時滞在施設を確保

ii. ターミナル駅(新大阪・大阪・京橋・鶴橋・難波・天王寺)周辺

- ・ 災害時に、市内に集中する来阪者への対応として、帰宅困難者がターミナル駅周辺等に滞留することにより発生のおそれのある二次災害を防止し、安全安心に滞在できる都市を実現するため、一時滞在施設の確保(令和7年3月末時点:69箇所)をはじめ、備蓄支援、帰宅困難者対策協議会へのサポート等を実施

(6)防災情報の発信

- ・ 来阪者に対して、広く防災情報を発信するため、大阪防災アプリと大阪観光局アプリ「DiscoverOsaka」とが連携して防災情報を発信



医療衛生部会

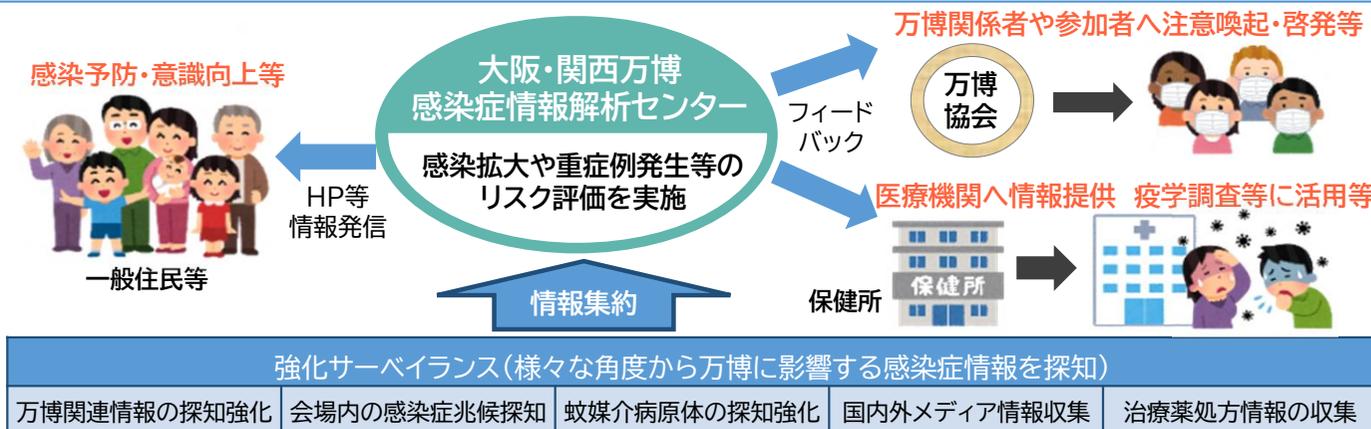


〈構成〉 部会長:大阪府健康医療部長 副部会長:大阪市健康局長

大阪府	大阪市
健康医療部	健康局、消防局、区役所

(1) 感染症対策の強化(「大阪・関西万博感染症情報解析センター」の設置等)

- 府、市、大阪健康安全基盤研究所、国立感染症研究所で構成する「大阪・関西万博感染症情報解析センター」を令和7年1月14日から運営開始(3月31日時点構成員 計22名)
- 感染症情報を幅広く集約し、リスク評価の上、関係機関へのフィードバックや一般住民等への情報発信を行い、府内の感染症対策を向上
- 会場内等で、麻しんや侵襲性髄膜炎菌感染症が発生した場合を想定した訓練など各種訓練・研修を実施



(2) 救急医療体制の整備(「万博協力病院」との協定締結等)

- 大阪市内の二次救急医療機関で、万博会場からの患者の積極的な受入を行う医療機関を「万博協力病院」とし、円滑な転院搬送を行うことで、医療救護活動を迅速かつ適切に実施(66病院と協定締結)
- 救急患者転院搬送訓練や、大規模災害等の発生を想定し、近畿地方DMATブロック訓練等を実施



(3) 衛生対策の実施(「会場衛生監視センター」の運営等)

- 「会場衛生監視センター」を令和7年2月3日から運営開始(4月1日時点職員 計18名(市15名・府3名))

主な業務

- 食品営業施設等の許可・届出受付
- 飲食店、パビリオン、イベント会場等の監視指導
- 販売食品の収去検査、食中毒発生時の対応
- 来場者に対する食中毒予防の普及啓発
- 建築物等の空気環境測定や水質検査等
- そ族昆虫類の生息状況調査等



会場衛生監視センターが入る管理棟



衛生管理等講習会



食物アレルギーコミュニケーションシート

- 府内の宿泊施設や万博に関連する食品関係施設等に対する監視指導を強化するとともに、衛生管理や食品衛生の講習会等を実施
- 来阪外国人が安全安心に滞在できるように、食物アレルギー発生防止のピクトグラムを活用した多言語コミュニケーションシートの作成、宿泊マナー啓発チラシの配布

(4) 外国人患者受入れ体制の整備

- 外国人患者受入れ医療機関を拡充するため、受入れ環境整備を行うための補助を実施(176医療機関に拡充予定)
- 「おおさかメディカルネットfor Foreigners[※]」等について、対応言語に万博公式参加国の主要言語である仏語を追加
※外国人が医療機関を受診するとき、役立つ情報を取りまとめたサイト
- 外国人向けに日本での医療のかかり方等について、啓発する動画を作成、公表



医療機関のかかり方動画等

(5) 毒劇物適正管理

- 毒劇物の保管管理の適正化を図るため、毒劇物の関連業者向けの講習会や監視指導を実施
- テロ発生時に必要な解毒剤のうち不足が見込まれるものを確保、医療機関等への迅速な供給体制を整備



産業振興部会



〈構成〉 部会長:大阪府商工労働部長

副部会長:大阪市経済戦略局長

大阪府

大阪市

商工労働部、環境農林水産部、府民文化部

経済戦略局

(1)万博を契機とした社会実装の実現

▶万博開催時を一つの到達点とした社会実装を見据えた技術革新

- ・万博での「空飛ぶクルマ」の2地点間飛行、Beyond 5Gへの対応、バイオプラスチック製品のビジネス化など、万博を契機とした技術革新の社会実装
- ・ディープテックスタートアップの輩出、スタートアップの海外進出の実現
- ・中之島クロスにおける再生医療等の産業化の推進
- ・ヘルスケア関連の革新的技術の展示・体験会等を行う「健都万博」の開催、及び産学官民が連携した実証事業の実施

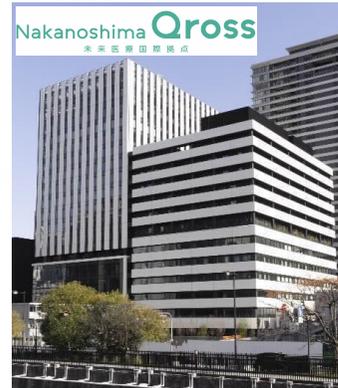
Global Startup Expo 2025(イメージ)



出典:2025年日本国際博覧会協会(屋外イベント広場イメージ)

世界中のスタートアップ関係者が集結する「**Global Startup Expo 2025**」(GSE)にて日本、関西のスタートアップの技術・サービスを発信

会場内外においても、世界で活躍するスタートアップを交えた、セッション、ピッチイベント、企画展示等様々なイベントを開催



提供:一般財団法人未来医療推進機構

医療機関と企業、スタートアップ、支援機関等が一つ屋根の下に集積する他に類を見ない未来医療の産業化拠点

再生医療等の産業化に向けて、中之島で拠点形成・オープンイノベーションを推進

万博の国内外への発信力を最大限活用し、再生医療の普及・産業の活性化を加速

(2)万博を活用したビジネス機会の創出・拡大

▶万博がなければリーチすることができなかった、会場内外におけるビジネス機会及び万博への参画機会の創出・拡大

【会場内外】

- ・大阪産(もん)活用拡大のため「大阪産(もん)データベース」の周知や大阪ウィーク～春・夏・秋～でPR (EXPOメッセ「たべなはれゾーン」で、旬の食材を使用した会場内限定の特別メニューの提供等)
- ・海外展開をめざす中小企業の展示会や商談出展の実現(大阪ヘルスケアパビリオンでのリボンチャレンジ、JR大阪駅(うめきたエリア)地下コンコース等でのカーボンニュートラル最先端技術の展示等)
- ・中小企業等を対象とした商品(大阪土産)の磨き上げ支援、万博来場者等に対する代表商品の販売・PR

【会場内】

- ・大阪ウィークにおいて、「大阪製ブランド認定製品」と大阪の伝統工芸品の展示～夏～ (EXPOメッセ「みなはれゾーン」)や、高い技術力に関する展示やワークショップ等～秋～ (ギャラリーWEST)を行い、中小企業等の魅力を発信

【会場外】

- ・商店街の魅力発信の継続 と、万博来場者を商店街へ呼びこむことでのぎわいを促進
- ・大阪府市・支援機関で構成する「大阪海外ビジネスワンストップ窓口」を設置・運営するとともに、海外からのビジネス相談へ対応
- ・万博のテーマである「SDGs+Beyond」などに関連したMICE(国際会議等)の開催

●リボンチャレンジでの展示イメージ



●JR大阪駅(うめきたエリア) 地下コンコースでのスペース



地域連携イベント部会



〈構成〉 部会長：府民文化部長

副部会長：経済戦略局長

大阪府	大阪市
府民文化部、総務部	経済戦略局、建設局、区役所
大阪都市計画局	

(1)大阪府・市関係部局の主催行事等での取組み

▶大阪府・市関係部局の主催行事等でさらなる来場促進に取り組むとともに、大阪の多様な都市魅力を発信

- ・大阪のにぎわいを創出し、魅力をより一層発信するための大規模イベントや水の回廊の新たな拠点の整備を実施
- ・大阪府内での滞在や周遊を楽しんでいただけるよう、府内各所でイベントやキャンペーン等を実施するとともに、万博のPRを実施

[関連取組]

御堂筋を実験フィールドとしたモビリティ実験やエリアマネジメント団体が実施する賑わいイベント等、万博と連携したショーケース事業の実施に向けた、フィールド提供や受け入れにかかる整備を実施



大阪・光の饗宴2025



OSAKAリバーファンタジー



大阪国際文化芸術プロジェクト



大阪来てな！キャンペーン



大阪文化資源魅力向上事業

(2)府内市町村が主催する行事等との連携

▶府域全体での機運醸成及び来場促進をめざし、地域連携イベント開催支援事業補助金を市町村に交付

- ・府内市町村が主催又は共催する、万博の機運醸成及び来場促進を目的に含むイベント等の開催に要する経費を補助

(交付決定事業数：82事業、交付決定総額：35,751千円 ※令和5年～7年度計 令和7年度は4月1日時点)

交通対策部会



〈構成〉 部会長:大阪府都市整備部長

副部会長:大阪市計画調整局長

大阪府	大阪市
都市整備部、スマートシティ戦略部、府警本部	計画調整局、都市交通局、建設局
万博推進局、大阪都市計画局、大阪港湾局	

(1)交通の円滑化にかかる取組みを推進

- ▶万博会場周辺の道路交通のモニタリング・分析・予測を行い、必要に応じて追加的対策を実施
 - ・万博開催期間中の本市管理道路の交通円滑化を図り、来場者輸送に資することを目的に設置した「**大阪市道路交通円滑化対策会議**」を通じ、会場周辺の交通監視用カメラ(ITV)等を活用し、**開催期間中の交通モニタリング・予測等を行い、必要に応じて、追加的対策を実施**
 - ・来場者輸送情報センターと交通情報やシャトルバス運行情報等の連携を実施
- ▶円滑な会場アクセスにつながる取組み
 - ・会場へのアクセスルート主要駅の構内混雑状況の見える化機能を付加した**e METROアプリの活用**
 - ・会場と主要な鉄道駅を結ぶシャトルバス及び空港直行バスの乗車券を予約・決済できる**KANSAI MaaSの活用**
- ▶府市等が実施する規制を伴う道路工事にかかる調整や占有事業者が実施する工事抑制への協力呼びかけ
 - ・シャトルバスの運行ルートや来場者等の主要アクセスルートとなる阪神高速道路を補完する路線などで、TDMを強く呼びかける期間(10月～閉幕まで)、呼びかける期間(6月及び8月中旬から9月末)に、道路管理者による交通規制を伴う工事については、夜間工事への振替等を行うとともに、占有事業者に対しても協力を呼びかけ、工事抑制を実施



配信する画像の一例

(2)一般交通へのTDMの働きかけ実施 ※「(参考) TDMの取組について」にて説明

▶交通モニタリングを踏まえた、追加的対策の内容

・追加的対策A(交通量の状況に関わらず、予め期間を決めて実施する対策)

対象車両	対策メニュー	内容	実施期間(案)
IR工事車両	休工日の追加	万博来場者が特に多く見込まれる期間について、IR関連工事の休工を増やすなど今後調整 [IR工事車両台数を削減]	開幕・GW・お盆・閉幕付近
一般交通	舞洲工場の搬入抑制	ごみ収集車両に対して、混雑時間帯に他の工場に搬入するなど、通行台数を抑制 [12~36台/hの削減]	全期間

・追加的対策B(交通容量を超過する見込みとなった場合に、機動的に実施する対策)

対象	対策メニュー	内容	効果
物流車両	ターミナルゲートの時間延長	昼休みにゲートオープンし、物流車両の来場台数を平準化(開幕から数週間実施し、効果把握を行う予定)	昼休み前後の時間帯の来場台数を平準化
	空コンテナシフト	空コンテナの返却場所を夢洲から咲洲等に一部変更	150台/日削減を想定
IR工事車両	通行ルート・時間帯の変更	容量を超過する見込みのルート・時間帯において、IR工事車両の通行ルート・時間帯を変更	IR工事車両台数を削減
一般交通	働きかけTDM※	・更なる協力のお願いについてTDMパートナー企業等にメルマガ配信や情報提供	抑制

▶府市等が実施する規制を伴う道路工事にかかる調整
占有事業者が実施する工事抑制への協力呼びかけ

リーフレットによる協力呼びかけ

占有事業者の皆様へ

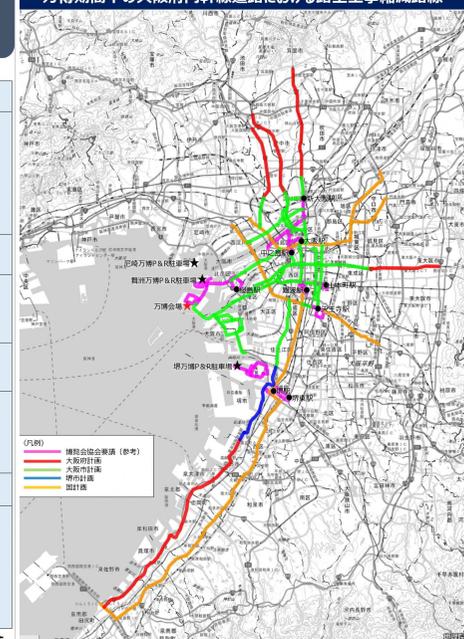
このたび、大阪国道事務所・大阪府・大阪市・堺市の道路管理者では、万博開催期間中のシャトルバスの運行ルートや来場者等の主要アクセスポイントとなる阪神高速道路を補完する路線道路などにおいて、道路規制を伴う路上工事の縮減に取り組みたいと考えています。占有事業者におかれましても、ご協力いただきますようお願いいたします。

《路上工事縮減の取組内容》

	シャトルバス運行ルート	その他路線
取組路線	「主要駅からのシャトルバス」 及び 「万博P & R 駐車場からのシャトルバス」 の運行経路	<ul style="list-style-type: none"> ●大阪市内 <ul style="list-style-type: none"> ・主要アクセスポイントとなる阪神高速道路を補完するルート ・シャトルバス発着場となる主要集客エリア ●大阪市域外 <ul style="list-style-type: none"> ・上記市内路線に接続する路線
取組内容	取組期間・時間帯における車線規制を伴う路上工事の抑制(夜間振替等)	
要請者	公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 及び バス事業者	道路管理者 (大阪国道事務所・大阪府・大阪市・堺市)
目的	シャトルバス運行の定時性確保	万博交通(自家用車利用等)及び一般交通の円滑化
取組期間	万博開催期間中 (2025年4月13日～10月13日)	TDMを強く呼びかける期間(10月～開幕)及びTDMを呼びかける期間(6月、8月中旬～9月末)
取組時間帯	午前7時～午後10時(参考:万博開場時間 午前9時～午後10時)	
対象工事	車線規制を伴う工事 但し、下記の工事などについては対象外 ・車線規制を伴わない工事 ・仮設物等の一時撤去が困難な工事 ・災害に起因する緊急工事 ・路面清掃、道路施設の巡回補修等、日常に行う必要がある維持工事 ・その他真にやむを得ない道路占有工事	

※万博開催期間中の交通状況によっては、臨機応変に対応方針の見直しを実施する予定です。

万博期間中の大阪府内幹線道路における路上工事縮減路線



(参考) TDMの取組について

TDMの取組について

▶万博期間中の円滑な万博来場者輸送と経済活動の両立をめざすため、**企業や府民・市民の皆さまに対し**、TDMパートナー企業登録制度も活用し、一般交通の抑制や分散、平準化などの**交通混雑緩和に寄与するTDMの取組みへの協力を呼びかけ**

【取組対象期間】

- ・混雑する期間（令和7年6月1日～6月30日、8月18日～9月30日）
- ・非常に混雑する期間（令和7年10月1日～10月13日）

【協力いただきたい主な取組】

- ・移動量・配送量を削減 [在宅勤務、まとめて納品 等]
- ・混雑時期・時間帯を回避 [時差出勤、納品時期の変更 等]
- ・混雑場所・ルートを回避 [迂回通勤、配送ルートの変更 等]

【特に混雑が予測される箇所】

- ・平日8時台～10時台のOsaka Metro中央線、御堂筋線
- ・平日午前中の阪神高速道路 東大阪線等や湾岸舞洲出口、会場周辺の一般道路

なお、会期中には大阪メトロ中央線や会場周辺道路の混雑予測情報(1週間分)を、TDMパートナー企業等へプッシュ型等で情報提供

府市職員の取組(通勤削減目標)

対象職員	非常に混雑する期間	混雑する期間
咲洲庁舎・ATC庁舎	7割	3割
大阪府庁・大阪市役所など※1	3割	可能な範囲
大阪府市職員(上記除く)	可能な範囲	可能な範囲

※1 市役所の所属(副首都推進局、市政改革室、デジタル統括室、総務局、都市交通局、政策企画室、危機管理室、市民局、財政局、計画調整局、福祉局、健康局、こども青少年局、都市整備局、会計室、教育委員会事務局、行政委員会事務局、市会事務局)、契約管財局、環境局(あべのルシアス)、消防局、港区役所

TDMパートナー企業登録促進に向けて

▶府市の各部局から関係する企業・団体に対し、TDMの取組みの広報・PRに努め、更なるTDMパートナー企業登録の呼びかけ

一般交通への働きかけ実施

- ▶中央線沿線企業や府民・市民に向けた地下鉄車内・駅構内でのポスター・デジタルサイネージを活用した周知、府市のホームページ・メールマガジンによる発信、経済団体等から会員企業等への呼びかけや説明会等によるTDMへの理解促進・協力の働きかけ
- ▶管理施設でのサイネージ等を活用した啓発PRや開催期間中を通じて管理道路での歩道橋横断幕等を活用したTDMへの協力呼びかけ、TDM実施強度に応じて道路情報板による情報発信を実施



ユニバーサルデザイン部会



〈構成〉 部会長:大阪府福祉部長 副部会長:大阪市福祉局長

大阪府	大阪市
府民文化部、福祉部、都市整備部	区役所、都市交通局、計画調整局、福祉局、建設局

(1)誰もが快適に利用できる宿泊施設や観光・集客施設、飲食店の拡大

▶ **観光施設における心のバリアフリー認定施設の周知等による来阪旅行者の利便性向上や安全確保**

- ・「観光施設における心のバリアフリー認定施設」の拡大・周知
- ・ユニバーサルデザインに準拠した観光案内表示板の整備(大阪市全域)、音声翻訳機の導入などの多言語対応、宿泊施設等のユニバーサル化、災害・避難誘導情報の多言語・視覚化対応など



(2)情報アクセシビリティの確保をはじめとした事業者や府民理解の促進

▶ **障がいに関する府民の理解と認識の促進及び障がい者差別解消**

- ・宿泊施設等を通じた来阪外国人向けヘルプマーク(※)の周知・配布
※外見からはわからない援助や配慮を必要としている方々が周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、作成されたマーク(「支援を必要としていることを知らせる効果」と「支援を促す効果」がある)
- ・「あいサポート運動」や障がい者差別解消に向けた周知・啓発



(3)誰もが円滑に移動できるよう交通機関や道路等における環境整備の推進

▶ **小さな子ども連れの方等が移動・外出しやすい社会づくり及び交通機関等のバリアフリー化による安全・安心な移動環境の提供**

- ・ベビーカーや小さな子ども連れの方等が、公共交通機関を安心・快適に利用できるようポスター等を用いた機運醸成
- ・鉄道駅舎や駅周辺の主要な生活関連施設に至る道路等の重点的かつ一体的なバリアフリー化の推進
- ・交通信号機に視覚障がい者用付加装置を整備



参加促進部会



〈構成〉 部会長:大阪府市万博推進局長

大阪府	大阪市
政策企画部、総務部、府民文化部、福祉部、教育庁	区役所、経済戦略局、福祉局、こども青少年局、教育委員会事務局
万博推進局	

(1)大阪の魅力発信に向けたオール大阪による催事参加

▶万博会場内で、府内市町村とともに、地域の魅力を発信する「大阪ウィーク～春・夏・秋～」を開催

- ・春5月9日(金)～18日(日)、夏7月24日(木)～8月3日(日)、秋9月4日(木)～17日(水)の3期にわたり、“祭”をキーワードに約400件のプログラムを実施
- ・春には大阪各地のだんじり・やぐら・太鼓台などの展示・実演、夏には盆踊りの世界記録への挑戦や次代を担う子ども達の様々なパフォーマンス披露、秋には大阪ゆかりの音楽フェスティバルを開催
- ・さらに、3期を通して、大阪が誇る食や観光、文化など、大阪43市町村の見どころを体験できるイベントも開催



(2)大阪の子どもたちを万博会場へ招待

▶大阪の子どもたちが、府や市町村から配付された入場チケットにより、万博会場で未来社会を体験

- ・府内の小・中・高校生等約58万人が学校単位で万博会場に来場予定。また、学校単位で来場されない児童生徒約30万人については、学校を通じて入場チケットを配布。加えて府内在住の4・5歳児や府外の学校への通学者等約14万人には、各家庭からの申請に基づき入場チケットを配付
- ・大阪市内在住の子どもたち(4～17歳)については、上記府の取組みに加えて、夏休み期間中に何度でも入場できる夏パスを配付。その他の府内32市町村においても、府の取組みに加えて子ども等に入場券チケットを配布



(3) ボランティア活動を通じた万博への参加

▶大阪・関西万博ボランティアが、万博会場や大阪のまちなかで、国内外からの来場者をおもてなし

- ・万博会場においては、入場ゲートやエントランス広場等における来場者の歓迎や案内、美化活動のサポート、案内所や休憩所等での運営を補助。大阪ヘルスケアパビリオンにおいては、来館者への案内や観覧サポートなどを実施
- ・大阪のまちなかにおいては、大阪国際(伊丹)空港や新大阪駅など府内の主要駅で、交通案内や万博・観光情報の案内等を実施
- ・大阪市内の交流スペースでは、万博の歴史を英語で学ぶ講座や関西の観光情報等をおもてなしに生かすワークショップ、ボランティア間の意見交換などを行う交流イベントを実施



(4) 障がい者や高齢者などの催事参加

▶障がい者や高齢者などが参画する舞台芸術や現代アート展等を開催

- ・障がいの有無や、プロ・アマチュアを問わず、多様な方々によるダンス作品の発表や、障がいのあるアーティストによる現代アートの展示会を開催。また、子どもや高齢者、障がい者を支える福祉分野における様々な活動を紹介するステージイベントを開催
- ・障がい者や高齢者などが安心して催事参加、来場できるようにするための情報を発信



9/5 多様な方々によるダンス作品発表 (EXPOホール)

撮影: 富田了平

(5) 万博を契機とした国際交流

▶万博参加国と府市各部局や各区・市町村が様々な国際交流を展開

- ・海外参加国の万博関係者を地元の学校等に招待。講演会や授業等の実施に加え、学生等が相手国パビリオンを訪問する交流事業等を実施
- ◀大阪府▶フランス、米国、オーストラリア、アラブ首長国連邦等 計8か国
- ◀大阪市▶オーストラリア、ドイツ、パプアニューギニア、ペルー等 計12か国
- ◀その他17市町村▶フランス、米国、スイス、中国、ウガンダ、タンザニア、オーストラリア、韓国、セネガル、エチオピア等 計19か国

(6) 修学旅行など全国からの誘客促進

▶全国から多数の修学旅行生等が来阪し、大阪府内各地を周遊

- ・修学旅行生等に対する宿泊税の課税免除や、大阪における体験型教育プログラムの取組み等を通じて、修学旅行生等が府内各地を周遊。

環境部会



〈構成〉 部会長:大阪府環境農林水産部長 副部会長:大阪市環境局長

大阪府	大阪市
環境農林水産部、商工労働部、政策企画部	環境局、経済戦略局、政策企画室

(1)カーボンニュートラル

▶カーボンニュートラルに資する技術等を会場内外で披露するとともに、CO₂排出量の見える化により脱炭素行動を拡大

- ペロブスカイト太陽電池やメタネーション技術、帯水層蓄熱技術等カーボンニュートラルに資する技術の試作開発や実証等の取組みを万博会場内外で披露
- 「大阪湾MOBAリンク構想」の実現に向け、産学官民のプラットフォーム「大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス(MOBA)」を通じて藻場の保全・再生・創出を推進するとともに、ブルーカーボン生態系の重要性や大阪湾の取組みについてVRコンテンツ等を通じて発信

【フィルム型ペロブスカイト太陽電池】

【会場内】西ゲート交通ターミナルのバスシェルター、大阪ヘルスケアパビリオン
【会場外】うめきた(大阪)駅 広場部分



画像提供:積水化学工業株式会社



バスシェルター

(積水化学工業株式会社
プレスリリース資料
(2023.7))



うめきた

(西日本旅客鉄道株式会社
プレスリリース資料
(2022.8))

【メタネーション】

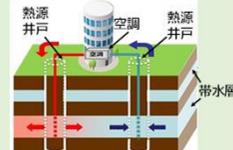
【会場内】カーボンサイクルファクトリー
【会場外】舞洲工場(R6)



大阪・関西万博会場内 実証設備イメージバス
提供:大阪ガス(株)

【帯水層蓄熱技術】

【会場内】パビリオン空調
【会場外】アミティ舞洲 他

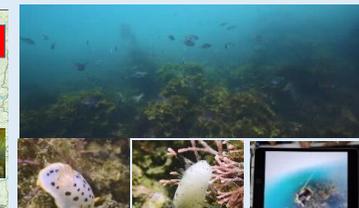


【大阪湾MOBAリンク構想】

【情報発信コンテンツ(例)】



藻場の保全・再生の加速化



VR動画

- スマートフォンのアプリを活用した個人の脱炭素行動によるCO₂削減量の見える化や、おおさかカーボンフットプリントプロジェクトを展開し、府域でのCFPラベルの表示を拡大

(2)ゼロエミッションモビリティ

▶万博会場へのアクセス等でEV・FCバスを活用

- ・府市が補助を行い、バス事業者等において導入されたEVバス89台、FCバス1台を桜島駅からのシャトルバス等に活用



大阪シティバス



岸和田観光バス



南海バス

阪急バス

(3)大阪ブルー・オーシャン・ビジョン

▶オール大阪で府域の清掃活動の活性化を図るなど、海洋プラスチックごみ対策を促進

- ・街・川・海にごみのないきれいな大阪の実現をめざし、オール大阪でのごみ削減や機運醸成を図ることを目的に令和6年4月からOSAKAごみゼロプロジェクトを開始
 - マイ容器やマイボトルで食料品や飲み物などの持ち帰りが可能な店舗等を検索できるウェブサイト(おおさかほかさんマップ)等によりマイボトル等の利用を促進
 - 会場内に設置される約80カ所の給水スポットの利用を促進
 - 府が旗振り役となり府域での清掃活動(愛称:ごみゼロアクション)を活性化



- ・バイオプラスチック製品のビジネス化プロジェクトの組成・開発の支援や、製品開発の取組みを実施

【大阪ヘルスケアパビリオンにて展示】



バイオプラスチック製知育玩具



バイオプラスチック製無針注射器

【会場内にて展示】



バイオプラスチックを使用したオブジェ
(提供:パナソニックホールディングス株式会社)

【会場内にて使用】



バイオマス樹脂を使用した床材タイル
(提供:三井化学株式会社)

スーパーシティの推進に関する取組み(スーパーシティ部会)



〈構成〉 部会長:スマートシティ戦略部長 副部会長:デジタル統括室長

大阪府	大阪市
スマートシティ戦略部	デジタル統括室、経済戦略局

(1)ヘルスケア

- ▶「大阪ヘルスケアパビリオン」において、REBORNをテーマに未来の医療・健康サービスを提供
- ・パビリオン来館者には、健康データを測定する「カラダ測定ポッド」に入っただき、心血管や筋骨格、肌・髪等の測定したデータをもとに生み出される**25年後の「ミライのじぶん」アバター**とともに、**2050年の「ミライの都市生活」の体験**を提供
- ・「ミライのヘルスケア」ゾーンでは、食や美容、フィットネス等をテーマとした**協賛企業による様々な展示コンテンツを展開**



(2)モビリティ

- ▶万博アクセスや会場内での自動運転バス、MaaSによる移動の円滑化及び空飛ぶクルマのデモフライトを実施
- ・万博会場へのアクセスや会場内移動の一部においてバスの自動運転を実施(一部の区間についてはレベル4)
- ・空飛ぶクルマによる2地点間/周回飛行を実施
- ・関西MaaS協議会により観光、交通に関する電子チケット等のサービスを実施



賓客歓迎部会



〈構成〉 部会長:万博推進局長

大 阪 府	大 阪 市
政策企画部、府民文化部、商工労働部、都市整備部	政策企画室、経済戦略局、建設局
大阪港湾局、大阪府市万博推進局	

(1)国内外からの賓客に対する適切な接遇の実施

▶皇室や総理大臣等の国内賓客、参加国・国際機関からの海外賓客を丁寧におもてなし

・万博推進局儀典課は、知事等の特別職のナショナルデー・スペシャルデー(以下「ND等」という)への出席を手配し、地元自治体としての歓迎の意を表す。また、会場内での表敬や大阪ヘルスケアパビリオンの視察などの対応を行う。

(2025年2月20日時点で151か国・7国際機関のND等の日程が公表済)。

・府政策企画部大阪儀典室、市政策企画室秘書部秘書課(賓客接遇グループ)をはじめ全庁一丸となって会場内外での表敬や視察などの接遇を行う。

・接遇を通じて、万博後の大阪の成長・発展につながる国際交流、ビジネス、国際金融、大阪産(もん)を含む様々な関係構築をめざす。

(出典) 第1回大阪府万博接遇推進本部会議資料



(参考)万博推進本部

- ・大阪・関西万博の成功のため、府市の各部局や区役所が、主体的に自らが有する機能をフルに発揮し、迅速・的確に取組みを進め、万博の円滑な開催を支援することを目的に推進本部を設置
- ・府市一体で検討を進めてきた各専門部会の会期中の主な取組を共有し、開幕に向け万全を期す

■本部体制

